

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-87653

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)4月18日

G 11 B 20/02
H 04 N 5/91

7736-5D
P-7155-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 映像信号の記録方式

⑯ 特 願 昭61-232383

⑰ 出 願 昭61(1986)9月30日

⑱ 発 明 者 叶 多 啓 二 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
⑲ 出 願 人 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号
⑳ 代 理 人 弁理士 伊 藤 貞 外1名

明 細 書

発明の名称 映像信号の記録方式

特許請求の範囲

映像信号が記録阻止信号を含むか否かを検出し、記録阻止信号を含む映像信号に対しては記録を阻止し、記録阻止信号を含まない映像信号に対してはその映像信号に記録阻止信号を挿入して記録するようにしたことを特徴とする映像信号の記録方式。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は記録阻止を考慮した映像信号の記録方式に関する。

〔発明の概要〕

本発明は映像信号の記録方式に関し、映像信号が記録阻止信号を含むか否かを検出し、記録阻止信号を含む映像信号に対しては記録を阻止し、記録阻止信号を含まない映像信号に対してはその映像信号に記録阻止信号を挿入して記録するように

したことにより、映像信号を所定回数以上繰り返して記録することができないようにしたものである。

〔従来の技術〕

映像信号の記録された磁気テープを一のVTRにて再生し、その再生信号を他のVTRに供給して他の磁気テープにその映像信号を再記録することを阻止する技術は、従来から種々提案されている。

その技術の一つとして、本出願人より先に提案されたダビング方式(特願昭60-272995号、本願出願時において未公知)が有る。これはテープに予め映像信号と共にダビング保護データを記録しておき、このテープを再生してそのダビング保護データを検出し、その再生された映像信号の再記録を阻止するようにしたものである。

〔発明が解決しようとする問題点〕

かかる先行技術では、テレビジョン放送の映像

信号、ダビング保護データを含まないテープからの再生映像信号のように、ダビング保護データを含まない映像信号は、何度でも繰り返し記録することができる。

かかる点に鑑み、本発明は映像信号を所定回数以上繰り返し記録することのできない映像信号の記録方式を提案しようとするものである。

(問題点を解決するための手段)

本発明による映像信号の記録方式は、映像信号が記録阻止信号を含むか否かを検出し、記録阻止信号を含む映像信号に対しては記録を阻止し、記録阻止信号を含まない映像信号に対してはその映像信号に記録阻止信号を挿入して記録するようにしたことを特徴とするものである。

(作用)

かかる本発明によれば、映像信号が記録阻止信号を含むか否かを検出し、記録阻止信号を含む映像信号に対しては記録を阻止し、記録阻止信号を

含まない映像信号に対してはその映像信号に記録阻止信号を挿入して記録するので、映像信号を所定回数以上は繰り返し記録することはできなくなる。

(実施例)

以下に、図を参照して、本発明の一実施例を詳細に説明する。図は本発明を適用したVTRの一例である。尚、図においては、記録系のみを図示し、再生系は図示を省略してある。

(1)は記録すべき映像信号の入力端子である。この入力端子(1)は切換えスイッチSWを介して、チューナからの映像信号及び他のVTRからの再生映像信号が夫々供給される入力端子T₁、T₂に接続されている。

入力端子(1)からの映像信号は、記録阻止信号検出回路(2)に供給される。この記録阻止信号検出回路(2)からの映像信号は、記録阻止信号挿入回路(3)に供給される。この記録阻止信号挿入回路(3)は、入力端子(1)に供給され

3

た映像信号から、記録阻止信号検出回路(2)によって記録阻止信号が検出されなかったときは、その映像信号の垂直ブランキング期間等に記録阻止信号(特定周波数の周波数信号、コード信号等)を挿入する。

記録阻止信号挿入回路(3)からの映像信号は記録阻止手段としてのオンオフスイッチ(4)を通じて、記録回路(5)に供給される。そして、この記録回路(5)からの映像信号(輝度信号はFM変調され、搬送色信号は低域変換されている)は、回転磁気ヘッド(1個乃至複数個)(6)に供給されて、磁気テープ(7)上に傾斜トラックを形成する如く記録される。オンオフスイッチSWは、記録阻止信号検出回路(2)によって制御され、記録阻止信号検出回路(2)によって入力端子(1)に供給された映像信号から記録阻止信号が検出されたときは、スイッチSWをオフにし、検出されなかったときは、オンにする。

次にこの実施例の動作を説明しよう。入力端子(1)に供給された映像信号に記録阻止信号が含

4

まれていなかったときは、記録阻止信号検出回路(2)によって、スイッチSWがオンになさしめられると共に、その映像信号に、記録阻止信号挿入回路(3)によって記録阻止信号が挿入される。この記録阻止信号の挿入された映像信号は、記録回路(5)を通じて回転磁気ヘッド(6)に供給されて磁気テープ(7)に記録される。この磁気テープ(7)に再記録された映像信号には、記録阻止信号が含まれているので、この映像信号を再生して再度他の磁気テープに記録することはできない。

又、入力端子(1)に供給された映像信号に記録阻止信号が含まれていたときは、これが記録阻止信号検出回路(2)によって検出されるので、スイッチSWはオフになさしめられ、従ってその映像信号は磁気テープ(7)に記録されない。

尚、上述の実施例の場合は、映像信号に記録阻止信号を付加して磁気テープに記録し、その磁気テープに記録された映像信号を再生しても、それを他の磁気テープに2度と記録することはできない。

5

6

いようにしたが、記録阻止信号挿入回路(3)において、映像信号に挿入する記録阻止信号に工夫を凝らすことにより、ある回数だけは再記録が可能になるようにすることができる。即ち、記録阻止信号が記録阻止信号挿入回路(3)を通過する度に、そのコード値が1ずつ増えるようになし、その記録阻止信号のコード値が所定値に達したら、これを記録阻止信号検出回路(2)で検出して、映像信号の再記録を阻止するようにすれば良い。

は記録回路、(6)は回転磁気ヘッド、(7)は磁気テープである。

(発明の効果)

上述せる本発明によれば、映像信号を所定回数以上繰り返して記録することのできない映像信号の記録方式を得ることができる。

図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示すブロック図である。

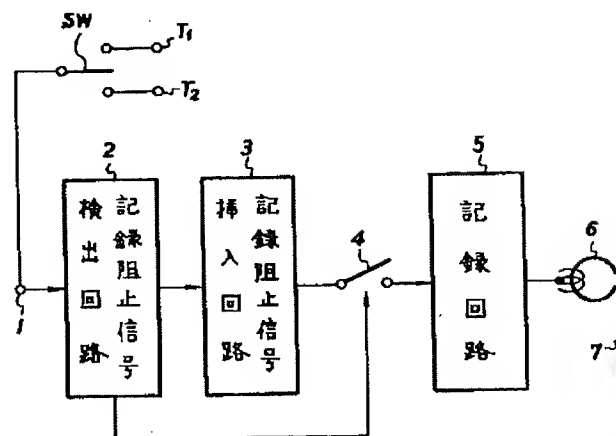
(1)は入力端子、(2)は記録阻止信号検出回路、(3)は記録阻止信号挿入回路、(4)は記録阻止手段としてのオンオフスイッチ、(5)は

代理人 伊藤 貞

同 松 順 秀 盛

7

8



実施例

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-087653

(43)Date of publication of application : 18.04.1988

(51)Int.Cl. G11B 20/02
H04N 5/91

(21)Application number : 61-232383 (71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 30.09.1986 (72)Inventor : KANOTA KEIJI

(54) VIDEO SIGNAL RECORDING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a video signal from being repeatedly recorded a prescribed number of times or more by stopping recording of the video signal including a recording stop signal and inserting the recording stop signal to the video signal, which does not include the recording stop signal, to record the video signal.

CONSTITUTION: If the video signal supplied to an input terminal 1 does not include the recording stop signal, the recording stop signal is inserted to the video signal by a recording stop signal inserting circuit 3. The video signal to which the recording stop signal is inserted is supplied to a rotary magnetic head 6 through a recording circuit 5 and is recorded on a magnetic tape 7. Since the video signal recorded again on the magnetic tape 7 includes the recording stop signal, this video signal cannot be reproduced and recorded on another magnetic tape again. If the video signal supplied to the input terminal 1 includes the recording stop signal, this signal is detected by a recording stop signal detecting circuit 2 and the video signal is not recorded on the

magnetic tape 7. Thus, the video signal is not repeatedly recorded a prescribed number of times or more.